



地域・社会とともに

野村不動産グループでは、企業市民としてより良い地域・社会づくりに貢献したいと考えています。私たちの事業は、地域・社会の皆さまに支えられています。事業を通じて地域・社会に貢献し、ともに発展したいという想いのもと、子どもたちの教育・文化支援などさまざまな活動を行っています。

2012年度の主な取り組みと成果

「事業を通じて地域・社会に貢献し、ともに発展していく」ことを目標として、さまざまな活動を行っています。「森のシティ」では、居住者・共同事業者などとともに、「森のシティ街づくり協議会」を発足し、継続した街づくり、コミュニティ支援に取り組み始めました。また、昨年度に引き続き、東日本大震災復興支援にもグループ一体となって取り組んでいます。

東日本大震災における取り組み

■ 学校外教育費の支援

野村不動産グループでは、グループ社員から古本の寄付を募り、東北の子どもたちの学校外教育費の支援を行っています。一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン(CFC)に協力するもので、2013年5月末現在、2,239冊の古本が集まり、東北の子どもたちの塾や習い事の費用に活用されています。



クーポンは、塾や習い事に活用されます
Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

■ 岩手県の仮設住宅に、 テーブルと椅子を寄贈

野村不動産グループは、「PROUD BOX感謝祭」で展示した「ちょっとテーブル」や「お気に入りの椅子」を岩手県の仮設住宅に寄贈しました。これらは、野村不動産と日本女子大学 篠原聡子教授が開発した『マンションコミュニティのためのデザイン手法100』に基づいてつくられたもので、仮設住宅でのコミュニティ形成に役立っています。



仮設住宅に「マンションコミュニティのためのデザイン手法100」を寄贈

■ 防災備蓄品の寄贈

野村不動産ホールディングスは、2012年10月、防災備蓄品の更新に伴い、賞味期限前の水(500mlペットボトル8,080本)やお米・乾パンなど14,110個の非常食をNPO法人「セカンドハーベスト ジャパン」を通じ、東日本大震災の被災者や児童養護施設などに寄贈しました。

■ 「東日本大震災復興支援 コンサート」を開催

野村ビルマネジメントは、2013年8月、「国分寺市立いずみホール」(東京都国分寺市)において、東日本大震災復興支援を目的としたコンサート『国分寺 Midsummer Jazz Day ~ Sing Swing Sing ~』を開催しました。市民にもスタッフとしてご協力いただき、義援金付入場券の販売や募金活動を通じて、総額176,631円の義援金を寄付しました。



ジャズコンサートを開催

■ 東日本大震災の遺児・孤児への スポーツ支援

メガロスは、2012年6月25日より、東日本大震災の遺児・孤児への支援として、同社が運営するすべてのキッズスクールの無料開放を行っています(2015年5月末までを予定)。この取り組みには、一般社団法人日本フィットネス産業協会加盟の1,400クラブのうち557のクラブが参加しています。

■ 物産展および募金活動の実施

「新宿野村ビル」では、東北地方の「観光物産展」を定期的に開催しています。

また、NREG東芝不動産では、テナント(東芝(株))・商店会と共同で開催する「東芝ビル夏まつり」において、東日本大震災復興支援として、募金活動を実施しました。約3,500人の皆さまにご来場いただき、募金は認定NPO法人を通じて全額寄付しました。また、抽選の景品として、被災地の特産品を導入しました。

地域・社会との共生

■ 「森のシティまちびらきフェスタ」を開催

2013年5月、「プライド船橋」の入居開始と、「森のシティ街づくり協議会」発足に合わせ、「森のシティまちびらきフェスタ」が開催されました。「森のシティ街づくり協議会」は、居住者、および野村不動産と三菱商事(株)が働きかけ、当事業にかかわる企業が「顔の見える街づくり」を行うためのコミュニティです。街びらき当日は、参加者がロングテーブルに並んで食事をする「隣人祭り-100人でいただきます」などさまざまなイベントが行われました。



「隣人祭り-100人でいただきます」

■ 「第4回ピオトープ顕彰」において「地域貢献賞」「CSR特別賞」を受賞
横浜ビジネスパーク (YBP) は、2012年6月、NPO法人日本ピオトープ協会が主催する「第4回ピオトープ顕彰」において、「地域貢献賞」「CSR特別賞」を受賞しました。YBPに常設されている「ピオトープ」および「ピオトープ観察会」が評価されたものです。

■ モリシア津田沼にて「ツダトモプロジェクト」を推進中

ジオ・アカマツが運営を行う商業施設「モリシア津田沼」(千葉県習志野市)では、地域住民が気軽に集まれる場となることを目指し、参加・体験型のイベント「ツダトモプロジェクト」を企画開催しています。子どもたちが不要となったおもちゃを交換し合う「かえっこバザール」はリサイクルの場として地域に定着しており、

子どもたちがリサイクルを学ぶきっかけになっています。

■ 「日本橋室町野村ビル」における取り組み

野村不動産では、地域の皆さまに「江戸・歌舞伎・落語」などを楽しんでいただく「江戸遊学」講座を開催し、「日本橋室町野村ビル」(東京都中央区)を地域コミュニティの拠点として活用しています。また、地元商店街や近隣企業とともに、毎年7月に「名橋『日本橋』を洗う会」に参加し、地域の一員として、日本橋エリアの活性化に貢献しています。

社会貢献活動

■ インターンシッププログラムの実施

野村不動産では、大学生・大学院生を対象に毎年インターンを受け入れており、2013年8月～9月にかけて行われたプログラムには、延べ68名の学生が参加しました。

プログラムの中では、建築を学ぶ学生のグループに「価値を社会へシェアする住まい」の課題で、実際に事業化予定のマンション計画についてプレゼンを実施してもらい、実務を体験する機会を提供しました。



インターンシッププログラム

■ 「国分寺市立いずみホール」における次世代育成活動

野村ビルマネジメントは、管理運営を行う「国分寺市立いずみホール」において、『どきどきワクワクアート体験 いずみ@あそびあーと』を定期的で開催しています。地域の子どもや親世代を対象と

し、アート体験を通して、心の交流や感性を育むことを目的とするものです。NPO法人子ども劇場東京都協議会の協力を得て「国分寺あそびあーと」を設立し、地域で文化活動を楽しむ支援を行っています。



「ロバロバフェスティバル」

■ 「第2回 薬物乱用防止キャンペーンin横濱」への協賛

野村不動産は、2011年に引き続き、「第2回薬物乱用防止キャンペーンin横濱」に協賛しています。当キャンペーンは、社団法人横浜市薬剤師会と横浜薬科大学が中心となり、若い世代への啓発を目的として開催されたものです。

■ 香港大学の学生が「プライド船橋」を訪問

2012年7月、香港大学の教授と学生約20名が「プライド船橋」マンションギャラリーを訪問し、「スマートシェアタウン構想」のコンセプトなどについて野村不動産と意見交換を行いました。当イベントは、世界各国4万人の会員をもつ非営利研究教育機関「ULI(アーバンランド研究所)」が主催する学生向けアジア都市ツアーの一環として開催されました。

■ 小学校児童向け着衣水泳教室の開催

メガロスは、東京都八王子市内の小学校児童を対象に、水難事故防止を目的とした「着衣水泳教室」を開催しています。これまでに延べ1,300人の児童が参加しました。